



役員だより

令和五年 年頭所感

関西サナトリウム
院長 亀廣 摩弥

明けましておめでとうございます。今年はい動制限のない年末年始でした。皆さんはどのようなお正月を迎えられましたか。昨年もコロナウイルス感染症に翻弄された一年でした。

昨年はい一月早々より関西サナトリウムにおいてクラスターに見舞われ、瞬く間に感染が広がりがりコロナウイルス感染症の恐ろしさを目の当たりにしたことが昨日のように思い出されます。また、関西記念病院においては昨年末に各病棟でクラスターが発生し緊張した年末でした。感染対応に尽力してくれたスタッフの皆さん本当に疲れさまでした。ありがとうございます。当法人もコロナで終わった一年でした。

また、日本は急激な円安や物価の高騰があり、政界ではロシアによるウクライナ侵攻などがありました。最も大きかったのは安倍晋三元首相が凶弾に倒れた衝撃的なニュースでした。そして、秋にはエリザベス女王が逝去されたり、沢山の方が亡くなられました。お悔み申し上げます。

しかし、暗いニュースばかりではなく年末にはW杯サッカー日本代表がドイツとスペイン戦に勝利し日本を沸かせ、ドーハの悲劇からドーハの歓喜へと歴史的な勝利し日本を沸かせ、ドーハの悲劇からドーハの歓喜へと歴史的な勝利を収めたのは記憶に新しいと思います。私たちに勇気と元気を与えてくれます。日本中が歓喜したことを思い出すと胸が熱くなります。

さて、当法人では関西記念病院は認知症治療病棟が安定的に増加し、それに伴い入院数の増加も見られ、在宅事業部門は訪問看護ステーション「HERAGE」の業績が急上昇しました。これらは従業員の方々が良く頑張ってくれたお陰であり、感謝の念に堪えません。

昨年は「寅年」にちなみ大きく成長し進化する年になるよう願っていました。おかげさまで私事ではあります。昨年十一月に「令和四年度の精神保健福祉功労者の知事表彰」をいただきました。これもひとえに全従業員の方々が支えてくれた賜物であり感謝するとともに、これからも更なる進歩発展に向けてまい進して参ります。

今年はい卯年です。六十干支では「癸卯（みずのとう）」にあたる年。「癸」は順序でいえば最後にあたり、一つの物事が収まり次の物事へ移行していく段階であり「卯」のうさぎは「茂」という時期であり繁殖する、増えるという段階にあたります。その両方を備えた「癸卯」は昨年までの様々な区切りがつき次へと向かっていく、そこに成長や繁殖といった明るい世界が広がっていくといった意味があるそうです。十二干支にはそれぞれの守護の仏様がついておられ卯年の守り本尊は「文殊菩薩」。「三人寄れば文殊の知恵」ということわざからも、知恵や才能の仏様でもあります。今年はい文殊菩薩の守護を得てうさぎのようにぴよんぴよん跳ねる「飛躍の年」にしてこれまで通り「創造」「実践」「調和」をベースに利他の心で亀廣記念医学会を盛り上げていきます。今年もよろしくお願いいたします。

令和五年一月一日

編集後記 ●公認心理士のKさんが産後ババ育休を利用することになりました。先日、オカルト大好きY課長はKさんとすれ違いざまに『子育ては修行。妻と子どもの心はUMA!』と吐き捨てていきました。咄嗟に振り返ったKさんの面妖な面持ちが忘れられません。本年もよろしくお願ひします!

看護部だより

当院は昭和43年創立の精神科で建て替えなどが行われないうまま、現在に至っています。建物の構造や閉鎖病棟しかないことなどから、患者様にご不便をおかけすることがあるのが現状といえます。

しかしながら、常に業務改善を図り「○○しかできない」ではなく「○○ならできるといった創造性を持ち、患者様の気持ちに寄り添いながら丁寧な看護を心掛け実践している為、そういったご不便にもご理解とご協力を頂き調和できていると考えています。

またこういった特徴は、入院から退院まで患者様の回復過程の各ステージに、同一チームが関わることができるといった強みともいえます。病棟移動などによる担当者変更がないことは患者様・ご家族の安心感となり、回復を患者様・医療者共に喜びあえることが互いのモチベーション向上につながっています。

今後も当院では、患者様の可能性をスタッフが一番に信じる「諦めない医療」を引き続き実践して行きます。

関西サナトリウム看護部長 安村幸柱

地域連携室だより

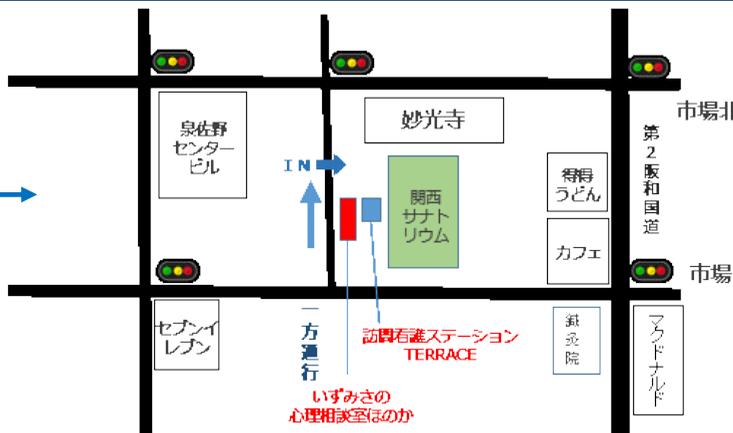
もの忘れ外来の新設について

地域の事業所の皆様より要望をいただき令和5年1月1日より認知症外来を新設いたしました。

- 1) 受診について
外来は毎月、第一月曜日と第三土曜日の午後からの診療となっており、診察は完全予約制です。
- 2) 初診日当日
 - 1.問診表の記入：ご本人様または家族様に記入いただきます。
 - 2.診察前の検査：専門スタッフによる聞き取り、スクリーニング検査（MMSE・長谷川式など）
 - 3.診療：担当医師より早期診断・治療を多角的に行います。ADLなどの身体面や環境面を考慮した診断・治療を行います。
- 3) 在宅支援
介護保険取得など在宅生活のお手伝いを行います。また、ご希望があれば居宅介護支援事業所や介護保険施設などの紹介業務も行っております。

関西サナトリウム 地域医療連携室

交通アクセス



○電車でお越しの方 南海泉佐野駅下車 南南東400m (徒歩5分)

○車でお越しの方

阪神高速湾岸線「泉佐野IC」より南東へ1km

関西空港道「泉佐野IC」より国道26号線右折→「市場」交差点を左折→200m右折

